

上村淳之展

特別展

文化勲章受章・卒寿記念

UEMURA ATSUSHI
90年の軌跡ここにあり

「時鳥図」(部分) 平成9年(1997) 青蓮院門跡蔵

2023年
10月14日[土]~12月24日[日]

[主催] 公益財団法人 松伯美術館・読売新聞社

[開館時間] 10時~17時(入館は16時まで) [休館日] 月曜日

[入館料] 大人(高校生・大学生を含む) 1,100円/小学生・中学生 550円

※障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで2割引

松伯美術館
SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
TEL (0742) 41-6666

松伯美術館 検索



特別展

文化勲章受章・卒寿記念

上村淳之展

UEMURA ATSUSHI



「春庭（白孔雀）」平成7～11年頃（1995～99）
京都花鳥館蔵



「風渡る」平成4年（1992）大分市美術館蔵

90年の軌跡ここにあり

当館の館長・上村淳之は、美人画で有名な画家・上村松園を祖母に、花鳥画家・上村松篁を父に昭和8年（1933）に生まれ、令和5年、卒寿を迎えました。

淳之は、「幼いころから、頼まれもしないのに、父が飼っていた小鳥たちの世話が大好きであった」といいます。そんな淳之は、美大三年生までの課題制作を終えると、専ら花鳥画を描くようになります。「鳥が好きだからテーマになり、テーマになるから鳥の数も増えてゆく」と述べるように、「啖禽荘」（自宅・アトリエ）で多くの鳥と共に暮らし、絵筆を握ってきました。その業績により、平成25年（2013）に文化功労者となり、令和4年（2022）文化勲章を受章しました。

東洋的感性の減退や現代の日本画について、真摯に警告を発し、さまざまな鳥の姿を通じて、自然の叡智を示し、未来へのメッセージを送り続ける上村淳之の姿を紹介します。



「月の水辺」平成2年（1990）大分市美術館蔵



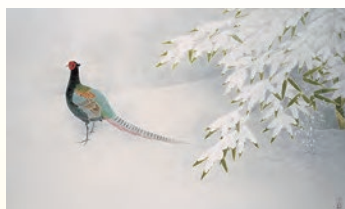
「晨」昭和49年（1974）株式会社ヤマタネ蔵



「大和鶏」昭和55年（1980）神宮徴古館蔵



「雪（鶯）」昭和53年（1978）株式会社ヤマタネ蔵



「雪野」平成3年（1991）
岐阜プラスナック工業株式会社蔵



「幼隼」平成5年（1993）
岐阜プラスナック工業株式会社蔵

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

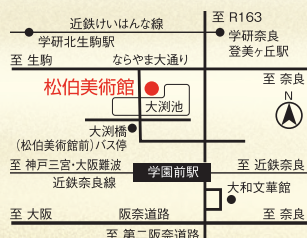


松伯美術館は、Googleが提供するGoogle Arts&Cultureに参加しています。当館所蔵作品の高解像度画像や360°のパノラマ画像「ミュージアムビュー」で館内の様子をご覧いただけます。

<https://artsandculture.google.com/shohaku> 検索

松伯美術館友の会

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。



【交通のごあんない】
近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤⑥番のりばよりバスで約5分、「大洲橋（松伯美術館前）」下車、大洲橋を渡った右側。※駐車台数に限りがあるため、「電車・バス」のご利用をお願いします。



上村松園 特別展示

「楊貴妃」大正11年（1922）